



校会部社 5
 学協刷 23
 小教理印 123
 市覚文 2
 崎聴研 2
 岡視管 2
 岡電研 2
 発行 印刷 電話

城北中学校本年度ダブル受賞

放送教育 文部大臣賞 毎日新聞視聴覚振興賞

一昨年視聴覚教育奨励賞を受賞した城北中学校は、その後も校内テレビ放送局をセンターとするAV教育のシステム化を図りながら「映像による論理的思考」を中心テーマに研究実践を続けられ、本年、第八回放送教育賞に応募され、みごと第二部門団体研究の部で最高賞の文部大臣賞を受けられ、金沢大会の場で表彰されました。そして、毎日新聞創刊百年記念「視聴覚教育振興賞」論文にも応募され、これまた入選という報に接し、総額七十万円におよぶ賞品が送られることになりました。表彰式は三月三十一日毎日新聞本社で行なわれるそうです。

ところで、岡崎市では、小、中学校ライブ

城北中学校視聴覚教育特別委員会のお喜びの声を紹介します。

喜びの声

わたしたちの学校では、創立以来教材研究の方向として

- ・教科書の比較研究による教材の精選
- ・視聴覚教育機器の研究利用

を柱として、子どもたちの胃袋にあった量の教材を、子どもたちの食欲を増す調理法で与える授業研究を重ねて来ました。

中古ラジオ、中古テレビによる放送教材の利用、そのための電機洗濯機用のタイムスイッチを改造した録音、録画の自動化など、金が無くてもできるところから実践を始めてき

ラーリの費用が全額公費支弁となり、LL装置の全中学校への設置予定など、視聴覚教育振興の施策が、着々と進められているわけですが、昨年度ライブラリーが視聴覚教育奨励賞を受賞していますので、三か年連続で全国レベルの受賞ができたことになり、岡崎市の視聴覚教育のためにもまた市当局の積極的な施策におむくいするためにも、意義深いものがあると思います。

ました。そんな様子をご覧になった父兄の中から、ITV「城北放送局」設置のお話が出され、昭和四十三年夏に「ソニー親々式一チャンネル三ライン方式」の校内テレビ放送局が誕生しました。

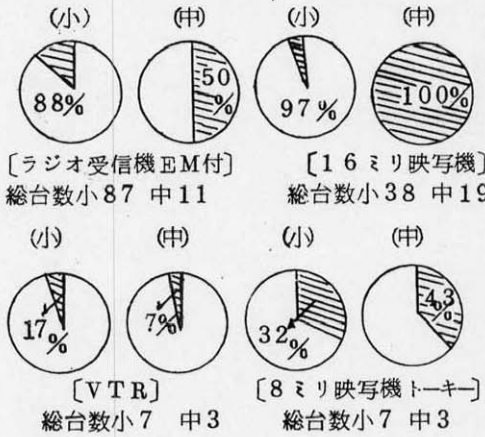
わたしたちは、この施設をどう活用するかを、実践の中で確かめ合い、子どものために役立つ運営を工夫しました。十分のビデオ教材を作るのに、二時間、三時間かかることもしばしばでした。しかし、浄財によってできた「城北放送局」を子どもたちのために活用するのは、わたしたちの責務だと考えて、全校一致の実践を続けて来ました。

第八回放送教育賞の論文も、毎日新聞「視聴覚教育振興賞」論文も、この実践をありのまま報告いたしました。それが表彰されたのですから、城北の全教師、全生徒の実践が評価されたものです。

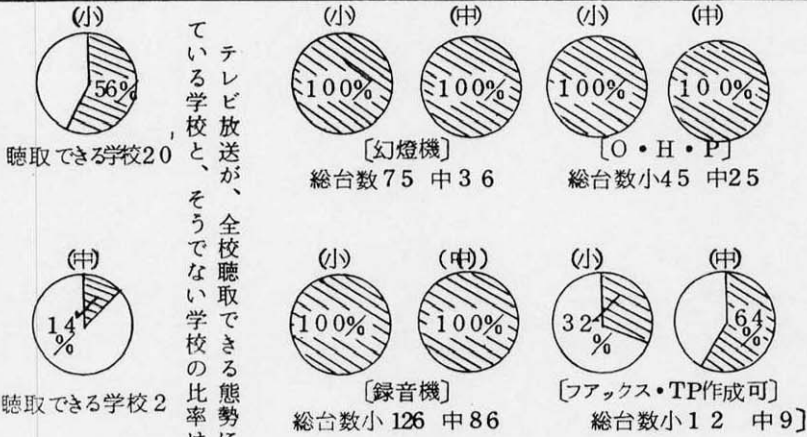
本年度得たこの二つの賞で、約百万円の賞金と賞品が、本校の視聴覚教育のために入りました。特にカラーVTRシステムは、明年度から学校放送「理科教室」がカラー化されることになっていくだけに、大変嬉しい賞品であります。LL装置を市で設置していただけることになれば、これを含めて新しい視聴覚室の設備に工夫をこらしたいと考えます。夢をみるのも楽しいものです。夢が一つ一つ実現していくのは、もっと楽しいことです。子どもたちのため、教育の近代化のために、一層の精進をしなければと考えています。

視聴覚機材の充実状況

ハードウェア（教具・教育機器）の開発はまことにめざましく、ややもすると、現場の教師が、機材の研究を十分にしないうちに、学習指導に活用されているような気がする。やはり、効果的な活用をはかるには、一つ一つの機材の特性を、十分にのみこんで、適材適所な運用が、たいせつである。昭和四十七年度には、中学校全部に、L・L装置が設置されることになった。視聴覚教育の振興のため、私たちにとって大きなよここびである。左の円グラフは、四十六年六月現在の、視聴覚機材の保有率を小中学校別にあらわしたものである。



全体的にみると、放送聴取の態勢が、ややおかれている感じがいたします。それにたいして、O・H・Pが、短期間に普及したといえましょう。



テレビ放送が、全校聴取できる態勢になっている学校と、そうでない学校の比率は

機器の充実・着々と進む！

- 十六ミリ映写機（北辰カナリーL）
- 八ミリ撮影機（エルモスパー8S六〇）
- スライド映写機（小・中集会用）……二台
- スライド作成用具一式
- O・H・P（一七〇型・二五〇型）……二台
- 実物投影機（アイコンB六〇）
- レコード演奏装置（パイオニア）
- スクリーン（O・H・P用と固定幕）
- 写真機（ニコンフォートミックスFTN）
- ビデオテープレコーダー（カラー用）
- 語学学習機
- 録音機（オープンリールとカセット）
- フィールド検査機
- その他レクチャーテーブル用ワイヤレス・マイクロホン等を一括購入いたしました。これらの機材は、登録後、新年度より活用してもらうこととなります。
- このほか、つぎのような機材も準備されています。
- ステレオテープレコーダー
- ラジオ付カセットテープレコーダー
- ステレオテープレコーダーは音楽教育、自作八ミリ磁気録音の時に、大きな効用があります。
- これらの機材を、フルに活用して、学習効果をあげてください。

OPPの活用をはかる

TP 作製資料

TP (トランスペアレンシー) とは、OH
Pの透明資料のことです。

OH Pをフルに活用しようとするれば、それ
は、先ず、TPを作製することです。

現場では、先生方がさまざまな方法でTP
を作製して、学習指導にあたってみえること
と思います。

ライブラリーにも、こうしたTP作製の資
料がたくさんあります。それは、

トランスペアレンシー・オリジナルス

と、いわれるものです。

トランスペアレンシー・オリジナルスは、
上質紙に印刷された各種の資料で、これを、
反射方式の複写機 (ライブラリーにも一台あ
る) によってフィルム (透明) に複写して、
トランスペアレンシーとして使用します。

ライブラリーにあるトランスペアレンシー
オリジナルスは

○理科

(小学校)

- 一・二年 八〇ページ
- 三年 九六ページ
- 四年 九六ページ
- 五年 一〇八ページ
- 六年 八四ページ

○算数

- 一・二年 一〇四ページ
- 三年 八八ページ
- 四年 八八ページ
- 五年 八〇ページ
- 六年 八〇ページ

○社会

- 四年 八〇ページ
- 五年 九六ページ
- 六年 九六ページ

○書写

- 一・二年 九六ページ
- 三・四年 九六ページ
- 五・六年 九六ページ

○理科

(中学校)

- 一年 九六ページ
- 二年 九六ページ
- 三年 九六ページ

○数学

- 一年 八〇ページ
- 二年 八〇ページ
- 三年 八〇ページ

○社会

- 一年 一〇四ページ
- 二年 七二ページ
- 三年 八〇ページ

○黒発色 (普及品)

一箱 (百枚入) 五九〇〇円

○黒発色 (上質品)

一箱 (百枚入) 九二〇〇円

フィルムは、つぎのような種類があります。
用途におうじて、ご利用ください。ライブ
ラリーにも、おいてあります。

TP教材の各種の提示技法 その一

名 称	別称例	技 法	事例・備考	名 称	別称例	技 法	事例・備考
部分提示法	マスキング法 表 出 法	・TPのある部分を見せたくないとき、その部分を不透明な物で遮蔽(マスク)して、必要な部分だけを提示し、注意力を集中させる。 ・学習の進捗に応じて遮蔽(マスク)をはずして表出していく。	・問題・解法・答えをおさめたTPを解法の部分にマスクして示し、マスクを徐々にはずしていく。 ・因果関係を予想させる場合などに、とくに有効である。	合成(分解)法	オーバーレイ法 重ね投影法 重ねあわせ法	・OHPの最も代表的な技法である。 ・ある資料をいくつかの要素に分解し、その要素ごとに1枚のTPにおさめ、投影するときに、それらのTPを、順にかさねあわせていく。もちろん、提示の順序は逆にしたたり、とばしたり、別のものを補ったりできる。	・集合の結びや、交わりをベン図によって図示するとき、要素をベスにおいて、多様な結びや、交わりの関係を順次重ねて示すと理解しやすい。 ・生産高のグラフを年表の上に重ねて、変化の要因を推察させる。
比較法	対 比 法	・類似の資料を並べたり、あるいは重ねたりして、両者の異同を比較させる。 ・OHPを2台併用するとより有効である。	・棒グラフと折れ線グラフの関係を示すのに並べたり、重ねたりする。	全体提示法	撮 影 法 チャート法	・撮影やスライドと同じように、1時にTP全体を示す。 各種の技法の基本である。	・比較的变化の少ないことからの説明に適している。